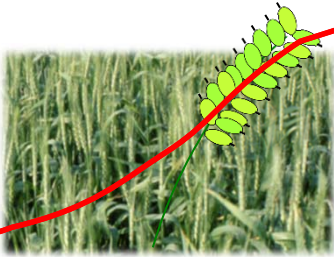
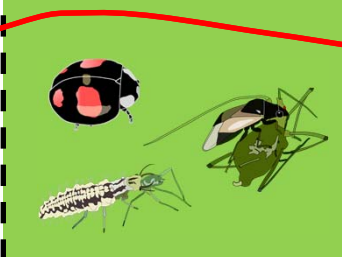
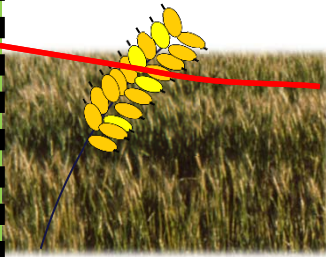


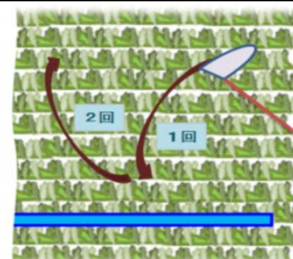
小麦のアブラムシ類捕食性天敵		
6月	7月	
	観察適期	
		

・観察適期は7月上旬～中旬の成熟前
適期は年と場所によって多少前後するため、異なる日に数回実施する。

・捕虫網ですくい取り

畑の中を畦に沿って歩きながら、捕虫網(虫取りアミ)の開口部の半分が穂の中に入れて、網を左右に振って虫をすくい取る。

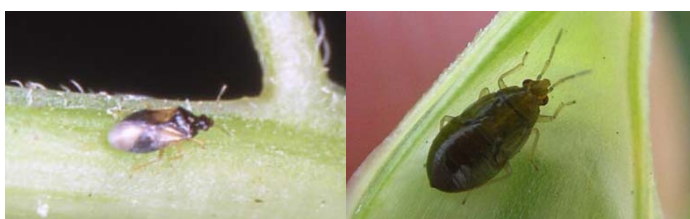
5畦程度の幅を対象にした20回振りを一ヶ所の調査とし、これを2カ所程度行う。
すくい取った虫はほ場で観察するか、持ち帰って冷蔵庫で弱らせて観察する。



・テントウムシ類： 成虫(左、中)は体長5～6mm、幼虫(右)は大きいもので10mm。



・クサカゲロウ類： 成虫(左)は淡い緑色で、体長約15mm。
幼虫(右)は体長7～8mm程度。



・ヒメハナカメムシ類： 成虫(右)は体長約2mm、幼虫(右)はさらに小さい。
小さいので他の2種類と比較して見つけにくい。